

NEWS LETTER



京都教育大学
附属教育実践センター機構
教育支援センター

Kyoto University of Education
Organization of Educational Research and Practice Centers
Educational Support Center

第28号(2016.3.14)

<http://cert.kyokyo-u.ac.jp/>

第88回国立大学教育実践研究関連センター協議会について

2016年2月16日に、東京学芸大学教育実践研究支援センターにおいて開催されました。この協議会には、全国40都道府県から90名の参加者がありました。午前中に、文部科学省高等教育局大学振興課教員養成企画室の柳澤好治室長より「教員養成の改善・充実について」の講演がありました。講演の内容は、今は大きな改革の時期であり、国立の教員養成大学・学部が存在意義が問われていて、①少子化で教員数が減る以上教員養成学部は縮小し、広域ブロックに一つ②国立大学の運営交付金が減る中、教員数が多い一方で効率が低い教員養成学部は不要③質の高い教員養成は私学でもできるという意見が出ているというものでした。これらの課題点に対する柳澤室長の回答も示されました。しかし、回答に説得力を持たせるエビデンスが極めて少なく抽象的な説明しかできていないのが現状で、端的に説得力ある説明ができなければ、極めて厳しい状況に追い込まれることは明白であるということでした。そして、この解決のために国立大学教育実践研究関連センターが、教育委員会との親密な関係を構築したり、附属学校を活用したりして連携から一体への認識の転換が必要であるということでした。

午後からは、各都道府県からセンターの実際についての報告がありました。一口にセンターといっても、都道府県によりその組織内容はかなり異なるものでした。

部門会議では<教育実践・教師教育部門>に参加しました。「教師の学びこととしての実践研究の意義」というシンポジウムで香川大学「教師のライフストーリーからみたキャリア発達の検討」、宮崎大学「校内研修の活性化と実践研究」、静岡大学「教職大学院における授業と実践研究の再検討」という3本の発表でした。フロアとの意見交流会では、教職大学院についての話題が中心でした。

なお、当日の配付資料は機構棟事務室に保管していますので、ご自由にご覧下さい。

京阪奈三教育大学との学生同士の意見交換会について

平成28年2月23日(火)午後3時より本学図書館2階の研修セミナー室において、三教育大学のテレビ会議が行われました。

一番目は、大阪教育大学の3人の学生が「ICT教育支援」についての発表をしました。

二番目は京都教育大学で、教育学専攻4回生の東郁弥さんから、京都市や附属学校における「スクールボランティア」についての発表がありました。京都市の公立小学校や附属小学校でのボランティアの仕事内容についてと、この仕事を通して将来へつながる現場力や実践力を学ぶことができたことが述べられました。次に教育学専攻3回生の森岡健さんから、学生が自主的に取り組んでいる活動団体(ありんこクラブ、てんとうむしクラブ)の活動内容が述べられました。プランニング・活動・振り返りというように手順を踏んで毎回の活動が進められているということでした。この活動を通して、将来教員になる上での学び(個々に対すること、集団に対すること)が多くあるということが述べられました。

三番目は奈良教育大学で、「ICT教育支援」と「自主サークル」についての発表がありました。全ての発表の後に質疑応答があり、どの発表に対しても活発な意見交換が成されました。



留学生と地域住民との交流プログラムについて

本年度最後のプログラムは「コロンビアは日本の教育から何をならうべきか」と題して、1月27日（水）に、コロンビアから来られている教員研修留学生のルイス・アルフォンソ・ロルダン・ペドラサさんにお話いただきました。



コロンビアの子どもたちは明るく元気ですが、授業に集中したり、規則を守ったりするのは苦手だと言うことです。しかし、悩み事などは、先生に気軽に相談できる雰囲気があるそうです。小学校は2部制や3部制になっており、午前に通う子ども、午後に通う子どもなどがあります。教員の給料は低く、午前と午後と違う学校で仕事する人が多いそうです。そのため、授業研究などする時間がないことなどが問題だそうです。

これで、本年度の留学生と地域住民との交流プログラムは終わりました。ありがとうございました。

幼児教育専攻学生による board deco



2月は雪景色。雪だるまを作って楽しく遊ぶ動物たち。3月は雛祭り。お内裏様とお雛様になってご満悦の表情ですね。季節感あふれる学生たちの貼り絵を、機構棟でご覧下さい。機構棟玄関正面にあるホワイトボードです。

教育支援センター

センター長／モラル・人権意識向上教育部門
教育実践連携部門
実地教育部門／就職・キャリア支援部門
実地教育部門／就職・キャリア支援部門
実地教育部門／就職・キャリア支援部門
実地教育部門（兼任）

関口 久志	075-644-8326	sekihisa@
樋口とみ子	075-644-8337	tomiko@
西井 薫	075-644-8806	kaoru@
岡田 敏之	075-644-8214	okada@
今野 勝明	075-644-8216	konno@
小山 宏之	075-644-8281	koyama@

ボランティアオフィス 075-644-8336 (月 11時～14時、水 10時～13時、金 11時～15時) sien@
運動部活動指導者育成室 075-644-8143 (月・水・木 10時～15時15分) bukatsu@
事務担当：研究協力・附属学校支援課 研究協力・センター機構支援グループ kenshien@

TEL 075-644-8335、8118 (内線のみ) FAX 075-644-8339 E-mail cert@

